

## 平成 27 年度 第 2 回神奈川県いじめ問題対策連絡協議会（議事録）

日時：平成 28 年 1 月 20 日（水） 14：00 ～ 16：00

会場：神奈川県総合医療会館

### 1 開会

### 2 あいさつ

- ・ 県のいじめ防止対策調査会では、まもなく答申がまとまる場所である。各団体の連携を深める話もあり、本連絡協議会が期待されているものと感じている。
- ・ 今回の連絡協議会において、県の取組や皆様方の取組を御報告いただき、互いに共有できたらよい。

### 3 議題

#### (1) 平成 27 年度いじめ防止基本方針に基づく取組について

##### ① 報告「各機関・団体の取組について」

- ・ 神奈川県はいじめに関する状況を事務局より説明。
- ・ いじめの認知件数は、6,944 件で前年度より 353 件減少した。
- ・ いじめ防止対策推進法に関する取組は、他県と比べて進んでいる。

##### ○各機関・団体から

- ・ 児童・生徒の主体的な活動として「児童・生徒が語り合う集い」を実施し、各校の取組を再確認するとともに好事例を学んでいる。
- ・ アンケートの実効性を上げるための研究（記名式・無記名式アンケートについて）を行い、成果を発表した。
- ・ 「いじめ・暴力行為問題対策協議会」を開催し、意見交換や研修会を実施している。
- ・ 「子どもたちのネット依存の現状」「学校におけるコンプライアンス」をテーマに研修会を実施した。
- ・ 学校、関連機関、少年警察ボランティアと連携して「非行防止教室」に取り組んでおり、その要請や開催回数が増えている。
- ・ 登下校の見守り、パトロール、様々な交流会への参加など、各地域の実情に合わせて活動した。

#### (質疑応答)

- Q 校長研修会では、どのようなテーマでどのような講師を招いたのか。

- A 「スマートフォン世代のコミュニケーションの実態について」をテーマに、学校の対応と対策についてソーシャルメディア関連の会社の方を講師に研修を行った。
- Q いじめを察知するための教師集団の意識と力量の育成について、どう取り組んでいるか。
- A 現場教員が研究員となりSNS等について研究し報告会を行っている。また、学校での指導の中で、子どものつぶやきを大切にすることも大事であるとする。
- Q 学校では、面談等により定期的に子どもや保護者にいじめについて聞いているのか。
- A 各学校種とも、実情に合わせて定期的に行っている。アンケート等も含めて、いじめのサインを見逃さないよう努力している。

## ②「神奈川県いじめ防止基本方針の推進について」

- ・事務局より説明。
- ・いじめ防止対策推進会議において、県基本方針について点検したところ、現段階では見直しの必要性はないことを確認した。また、いじめ防止対策推進法の施行後3年の見直しの状況等を見ながら、県基本方針の見直しに関し推進会議で議論を進めていくことを確認した。
- ・いじめ防止対策調査会において、「いじめの防止、いじめの早期発見及びいじめへの対応のための対策に係る、県教育委員会の取組」の諮問を今年度末にいただく予定である。

### <児童・生徒の取組紹介>

- ・児童・生徒がいじめ防止について自主的に取り組んでいる様子として、「スクールバディ活動」の紹介ビデオを放映。

## (2)「インターネット等によるいじめの防止に関する取組について」

- ・「携帯電話等及びパソコンにおけるインターネットの利用状況等に関するアンケート調査」の結果を事務局より報告。

### (委員からの意見)

- ・市独自に「携帯電話等及びパソコンにおけるインターネットの利用状況等に関するアンケート調査」を全校で実施し、SNS等のいじめの問題から子どもたちを守るための効果的な取組の参考にしている。
- ・「子ども議会」を開催し、「いじめを考える児童・生徒委員会」や、「スマホ・携帯電話に関する決意」を子どもたちが考えて議会の決議とした。
- ・従来型の携帯電話教室は、子どもが被害者にならないよう、フィルタリング等の必要性が主な内容であった。スマートフォンでは、ソーシャルメディアとどう接するか、

ネット社会の一員としてどう人権感覚を持つかなどが大切となる。学校も携帯電話教室的な部分とSNSに関わる人権教育を併用していかなければならない。

- SNSでのいじめの状況を親が知らないことが多く、親も危険性をわきまえることが必要である。子どもに携帯電話を与えるのであれば、周囲が持っているから渡すのではなく、携帯電話を使うにあたっての約束をしたうえで与えなければならない。
- 文字でコミュニケーションをとることはリスクがあると感じている。文章だけのやりとりはどこかですれ違いが生じる。
- ネットなどの環境が、子どもたちの発達に大きな影響をもたらしている。脳の発達など、様々な問題として出ている。
- 被害を防ぐことも大事だが、ルール作りや家庭の環境も大事である。学校ができることもあるが、家庭でのルールがあれば、子どもたちはもっと安心して生活できる。
- ネットの掲示板などの書き込みによるいじめの場合は匿名でも書き込むことができる。しかしながら、匿名で出せるようなインターネット上の書き込みなどでも、調べれば契約者や住所が知られる場合があり、そのことを子どもも知っていて欲しい。

#### 4 その他

- 今後の予定等